

ヒアリング調査結果の概要(障害種別集計)

参考資料

	身体障害				障害児	知的障害	精神障害
	視覚障害	聴覚障害	肢体障害	内部障害			
日常生活支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行の取引等で、自署を求められるので、代筆等の仕組みを検討してほしい。</li> <li>日常生活用具はデジジーに変えたいが、カセットテープレコーダの耐用年数6年は長い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口やロビーに手話ができる人を配置してほしい。</li> <li>文京区の職員全員が手話がある程度出来るようになってほしい。</li> <li>大きな病院などの受け付けには、手話の出来る人を配置するよう行政から指示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動坂福祉会館のお風呂を介助しながら入れるように改修してほしい。</li> <li>文京槐の会の自立生活訓練について、何年後に利用がもう一度できるなど柔軟な仕組みにほしい。</li> <li>制度や決まりは理解するが、杓子定規な場面もある。実体に合わせて、柔軟な運用を望みたい。</li> <li>槐の会が移動支援を始め、福祉センターから短期保護などでの利用について送り迎えが制度上料金がかかるようになってしまった。今までどおりできるようにしてほしい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センターと保育園の連携を深め、仕事と子育ての両立ができるよう支援してほしい。</li> <li>発達障害の対策を早期の療育からしっかりやってほしい。</li> <li>福祉センターの児童デイは小学生になると使えなくなってしまう。継続して使えるようにしてほしい。</li> <li>特別支援学級が偏っている。区内の広範囲に増やしてほしい。遠距離の通学が負担になっている。根津、目白台、本駒込などに増やしてほしい。</li> <li>放課後全児童向け事業について、特別支援学級の子どもも、普通学級の子どもと同じように見てもらえるようにしてほしい。林町小以外についても拡充してほしい。</li> <li>総合的に支援やアドバイスしてくれるコーディネーターがいると良い(成長に合わせて長期的な担当者など。)</li> <li>短期保護について、利用年齢を下げしてほしい(2歳ぐらいまで)、定員を増やしてほしい(藤の木荘の午後)、短期保護ができる施設を増やしてほしい、短期保護の施設を明るくしてほしい、質を上げてほしい、短期保護の職員の質を上げてほしい、障害児以外(障害のない兄弟)も受け入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校卒業後は放課後居場所事業を利用できないので、重度の利用者でも対応できる施設を増設してほしい。</li> <li>短期保護と移動支援とを組み合わせたシステムを検討してほしい。</li> <li>親の介護に使用できるよう短期保護事業の枠を新設してほしい。</li> <li>歯科診療はとてとても良い。障害者の内科もあるとよい。</li> <li>障害程度区分や手帳の級について、一人一人違うので細かく見てほしい。項目をしっかりと考えてほしい。</li> <li>高齢者のショートステイを障害者にも利用させてほしい。</li> <li>年金や家賃補助がなくなったらどうなるか心配。</li> <li>ショートステイなどについて同じ作業所の親に頼むことができる制度があるとよい。個人の家でもグループホームを作っていく事が出来れば、もっと簡単でお金がかからないと思う。認定する制度があると良い。お金がかからないで親の能力を十分に利用した新しい方法を考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体、知的と比較して精神障害者が利用できるサービスはほとんどないので、同等のレベルに引き上げてほしい。</li> <li>すべての障害者を一元管理して、施設や特養の送迎バス等の資源を共同利用できるよう、コーディネートしてほしい。</li> <li>入院するほどではないが、身の回りのことができないで不安になる時、即時入所できるショートステイがあるとよい。</li> <li>ヘルパーを利用している。助かるが、自分の症状に波があるので必要なときに来てもらいたい。</li> <li>年金で生活できるか心配。</li> <li>福祉センターの車いすの貸し出しを、手続きするのが大変なので長期で貸し出してほしい。</li> <li>自立支援サービスの手続きについて毎年更新しなければならないので手間がかかる。</li> <li>将来、ひとりになったときの不安がある。</li> <li>生命保険に加入できない。</li> <li>銭湯無料のサービスがあると嬉しい。</li> </ul>
生活の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で暮らせるグループホームが必要。目の見える人が1人入ることので、3~4人維持できるとよい。</li> </ul>	<p>一人暮らしの高齢聴覚障害者を優先してグループホームに入居させてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームは地域で暮らし続けるための練習の場であり、いずれは出るものとしたい。</li> <li>地域移行という目標があるが、文京区は家賃が高い。住宅を建てるのか、住宅の手当をせめてほしい。</li> <li>文京区では車いす対策の住宅が少ない。</li> <li>福祉センターのサービスは良い。身体障害者のグループホーム・ケアホームを整備してほしい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホーム整備について、区有地等を利用して計画的に整備してほしい。</li> <li>グループホームを作る計画が出て来たので、安心してほしい。</li> <li>施設の入所にあたっては、どのような利用者がどのくらい増えるのか、実態を見極めながら対応してほしい。</li> <li>親なきあとの子どもの生活の場が心配。グループホームなど施設整備を望む。</li> <li>小規模でグループホームをたくさん作ってほしい。</li> <li>日常生活に関すること(炊事、洗濯、お風呂など)ができないので、入所施設に入った時が心配。</li> <li>グループホーム等についても、合う合わないがあるので体験利用があるとよい。</li> <li>新福祉センターの入所施設は期限があると聞いているので、終の棲家としてのグループホーム等に入所させたい。</li> <li>区外などの遠い入所施設などは、親の集まりがある時遠いので大変。やはり文京区内にグループホーム等を作ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世話人がいるグループホームに住みたい。</li> <li>グループホームは3年が上限で定員も少なく、また日中は作業所の通所が義務付けられているので生活実態と合わない。</li> </ul>
相談支援 情報提供 権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を読むサービスがほしい。機械では無理、人的サポートは絶対に入る。</li> <li>選挙公報をホームページで見ると、都議選はテキストファイルだったが、区議選はPDFファイルだった。テキストファイルにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文京区に越してきたときに、手帳の交付を受けるが、その際にある程度の説明をしてほしい。障害者福祉のてびきをもらったが、ポイントになる部分の説明をしてほしかった。</li> <li>OH Pを借りられるそうだが、もっとPRしてほしい。</li> <li>文字の掲示板で情報提供してほしい。</li> <li>シビックセンター全ての部屋に文字で情報を伝える機器を設置してほしい。少なくとも、1階のロビーと障害者会館には設置してほしい。</li> <li>障害者福祉のてびきに聴覚障害者のことについてもっと盛り込んでほしい。</li> <li>シビックセンター正面玄関の上に時計をつけてほしい。</li> </ul> <p>都：車内等で緊急・非常時の情報が入りにくい割合が36.8%であった。</p>	<p>区の情報を得る手段がわからない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のある高齢者は住宅を借りるのが困難。相談できる窓口がほしい。</li> <li>障害者が包括支援センターを利用できるシステムを拡充してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園や育成室、移動支援事業の区のホームページを充実してほしい。</li> <li>育成室、保育園の案内は、障害のあるなしに関係なく全員に配布することにより、障害者への理解につながる。</li> <li>就学前の区のサービスについて情報提供がほしい。</li> <li>児童館の利用についてなどに関連して、通学支援の制度が浸透されていないので、情報提供してほしい。</li> <li>親なきあと、判断能力のない子どもだけでは不安である。成年後見制度の講義をしてほしい。</li> <li>職員の人に感謝をしているので、本当は困っていることがあってもなかなか意見を言うことができない。</li> <li>肢体不自由児の母親は家に籠りがちだと思う。検診などで、情報提供などの区からの投げかけをしっかりとしてほしい。</li> <li>区からの情報があまり来ていない。</li> <li>障害者福祉のてびきは手帳を持っている人しか届かないため持っていない(愛の手帳はとっていない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこを中心に相談をするべきか悩む。本人をよく知る通所施設に聞くことは、聞きやすいのが良い点だが、言いたいことが言えるとも限らない。</li> <li>自立支援協議会の役割等について浸透されていないので、ホームページなどでもわかりやすく周知してほしい。</li> <li>子どもの状態のことを知らないと相談は相談で終わってしまうので、本人のことを知っている人がよい。</li> </ul> <p>都：成年後見制度の利用意向については、「わからない」が37.3%と割合が高い。知的障害者では、本人が回答した利用意向よりも、本人以外の回答の方の利用意向が高い割合で出ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師、施設職員や仲間、家族に相談する。</li> <li>詳しくはホームページを見るといいのでは、情報弱者は取り残される。</li> <li>各医療機関に福祉のサービスの情報があるとよい。</li> <li>施設を知らず、家に閉じこもって悩んでいる人がいると思う。区報やホームページで周知してほしい。</li> <li>いざという時に相談する相手がいない。</li> <li>保健師はいつも忙しそうで遠慮してしまう、定期的にフォローしてほしい。</li> <li>担当の保健師の変更が早く、名前を覚えるのが大変。3年くらいは同じ方に来てもらいたい。</li> <li>父親が亡くなった時に葬儀のことや遺産相続のことなど相談する相手がいなかった。障害者向けにガイドブックがあるとよい。</li> <li>施設にも区報の配付をしてほしい。</li> <li>通っている施設で情報がもらえれば助かる。</li> </ul> <p>都：成年後見制度の利用意向については、「わからない」が32.3%と割合が高い。</p>

	身体障害				障害児	知的障害	精神障害
	視覚障害	聴覚障害	肢体障害	内部障害			
防災安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災と非難生活を考えると、救援物資がそこにあっても見えずに取りに行けないなど、見えないことによる不安が強い。</li> <li>震災直後のスーパーは朝早い段階で売り切れてしまい、ガイドヘルパーを必要とする者は買いそびれてしまう。</li> </ul> <p>H18区：「自力避難は困難」が58.9%と最も多く、次いで「初期消火が困難」50.0%、「災害の状況がわからない」が</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者会館に、緊急時の避難指示等が分かる情報装置等を会議室の中に設置してほしい。</li> <li>バトライトを設置してほしい。</li> <li>シビックセンターのエレベーターで、中でトラブルが発生したときの外部との連絡方法がわからない。</li> <li>災害時の情報保障について、障害福祉課、防災課、手話通訳者、聴覚障害者協会を加えた4団体で話し合う会を設置してほしい。</li> <li>災害時に障害者という大きな括りではなく、聴覚障害者への支援として手話通訳者の派遣など障害特性に応じて支援してほしい。</li> </ul> <p>H20区：災害時にリアルタイムの情報提供や連絡手段が必要等、防災対策の充実を求める意見があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者名簿を実効性のあるものにしてほしい。</li> <li>福祉避難所は新福祉センターだけでなく、各地域に作るべき。</li> <li>災害時要援護者名簿が機能するようにしてほしい。連絡はなかった。</li> <li>防災訓練を充実してほしい。</li> <li>避難所の設備を整えてほしい。</li> <li>災害が起きた時の支援を充実してほしい。</li> <li>区施設や障害者通所施設において、災害時の備蓄を充実してほしい。</li> </ul> <p>H20区：何かあった際の緊急時の救援や、災害時の区からの情報提供が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬の心配、人工透析は2日に1回の通院等、生命に直結する問題を抱えているので、対応について確認できる体制が必要である。</li> </ul> <p>H18区：「医療機器の使用や服薬」35.1%と最も多かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉避難場所に家族全員は入れないので、基本は指定された避難場所になる。日頃から地域と話し合い理解を求める必要がある。</li> <li>災害時要援護者名簿については、避難場所に行った際のチェック機能がある等、有効的にしてほしい。</li> <li>災害時要援護者名簿について、支援してほしい内容を記入できるようにしてほしい。</li> <li>障害があると避難所に入れなくなってしまう。安心していられる避難所を設置してほしい。</li> <li>子どもが地震でパニックを起こした時の対応のための手帳やマニュアルを作してほしい。</li> <li>震災時のトイレの確保をしっかりとしてほしい。</li> <li>帰宅困難者が多くなってしまっていて、地域の人が避難所に入れられないということがないようにしてほしい。</li> <li>マンションなど高層階だとエレベーターが止まってしまって降りられなくなってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災時の対策に作業所で泊まれるようにしてほしい。</li> <li>耐震の福祉避難場所を整備してほしい。福祉避難場所に避難する場合、家族がバラバラになると懸念する。</li> <li>第一段階の避難場所でも障害のある人のために、教室を1、2か所確保してもらえる体制があるとよい。</li> <li>災害時要援護者名簿を有効に活用できる仕組みを検討されたい。</li> <li>災害時要援護者名簿の制度を知らない。</li> <li>障害者施設の備蓄等を区から提供できるように検討されたい。</li> <li>計画の中に、災害時の対応について盛り込んでほしい。</li> <li>福祉施設を避難場所に指定してほしい。</li> <li>保護者と連絡がとれるまでは施設で預かるよう、区で方針を定めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区のホームページから防災マップにたどりつけない。</li> <li>災害時の防災無線は聞きにくかった。</li> <li>薬が無くなるのが一番心配。薬を飲むための水がコンビニから無くなるのも心配。</li> <li>一人では怖かったので施設でみんなと一緒に過ごした。</li> <li>福祉避難所があったら良い。</li> <li>地震の影響で施設に泊まった時に、薬を持っていない人がいたので、文京区内の薬局を開放して臨時で提供してほしい。区と薬局が連携してほしい。</li> <li>災害避難所等の情報入手方法がわからない。帰宅困難者等の避難所が開設されていることも知らなかった。電話が通じにくくなるため、いざというときのために、常時バッグに入れておける避難所マップ(地震時の現在地から近い)等があると安心。</li> <li>ヘルメット・懐中電灯・電池等が入った、防災リュックの配付をしてほしい。</li> </ul>
就労支援	<p>真砂市場の空き店舗を解消するためにも、家賃を無料にしてクイックマッサーズの店舗ができれば、視覚障害者の就労支援にもなり、また高齢者の集客も期待できる。</p>	<p>H20区：やりたい仕事があってもコミュニケーションの問題があり諦めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市部にすむ共働き世帯には、夕方まで作業所にいられば、地域にマッチした制度になると思う。</li> <li>ハローワークの障害者枠を見たが、やりたい仕事がない。</li> </ul>	<p>都：定期的な通院や健康管理等の両立が難しいとする割合が22.4%あった。</p> <p>H20区：職場の理解が不足、健康状態についての理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援センターにおいて、新卒者への対応ができ、企業と連携できる仕組みを検討してほしい。</li> <li>作業所の就労もいいが、近所のパン屋さん、八百屋さん等、障害者が地域の人の目につく所で健常者に交じって働ける環境があると、周囲の理解も得られやすいと思う。</li> <li>障害のある中学生の職場体験については、将来の就労を見据えて、地域の中で一般就労がしやすいようになるよう、区の施設等の受け入れ先を提供してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労実態に合わせた訓練ができる場所を整備してほしい。</li> <li>区の中でチャレンジ雇用を実施してほしい。</li> <li>指定管理者でなくてもどのような仕事を開拓し、工賃は倍増されるのか等、契約の中に盛り込み見極める必要がある。</li> <li>人間関係を学ばせることも含めて、就労訓練の場を充実してほしい。</li> <li>作業所が気に行って通っている。少し狭いので広げればいいと思う。</li> <li>施設の利益が上がるような支援を区からしてほしい。</li> <li>作業所の仕事がない。</li> <li>重度の利用者でも簡単にできるよう、作業所の内容を拡充してほしい。</li> <li>就労訓練を充実してほしい。</li> <li>作業所の工賃が上がって、家賃補助が少なくなったり、もらえなくならないか不安。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働いて自立したい。しかし職がなく、あっても賃金も低い。</li> <li>仕事に就いたことがあるが、周囲の理解がなく差別がひどかった。職場に定着できるような支援が欲しい。</li> <li>工賃を上げてほしい。</li> <li>就労体験の場を増やしてもらいたい。</li> <li>給料が少ない。</li> <li>施設の通所時の交通費が出ない。</li> <li>正社員はなるのが難しい。</li> <li>就労したい。一人で食べていけるようになりたい。母親の面倒をみる余裕もほしい。結婚したい。</li> </ul>
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路のバリアフリー化については、視覚障害者にとっては段差が必要となるので、総合的に考慮してほしい。</li> <li>道路の視覚障害者誘導を様々な技術や発想を生かして充実してほしい。全盲だけでなく、弱視なども知って考えてほしい。</li> <li>交差点のエスコートゾーンが増えてうれしい。音声誘導等は人の少ない早朝や夜間に動いていないのが困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者会館について、ドアにガラス窓を付けてほしい。会議室の外側に使用団体名を表示してほしい。中廊下に時計をつけてほしい。コピー機やFAXの設置を設置してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通機関のバリアフリー化、また住民マナーに起因するバリア発生や周囲の理解について改善をしてほしい。</li> <li>小学校の隣に在住しており、チャイム等、朝から晩まで休まる時がない。学校からは情報や演奏会の案内もなく、なるべく家にいないようにしている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>駅の階段に手すりをつけてほしい。</li> <li>歩道が狭く、坂が多く大変。自転車は車道走行と言われるが、自転車でも安全に走行できるよう整備されていないため怖い。道路に「この道は、自転車は歩道走行」が明確に表示されていればよい。</li> <li>足が悪く、道路でつまずきやすく転倒してしまう。</li> </ul>
外出支援	<p>都：困ることの中で初めて行く所では、どのように行けば良いか迷うという割合が、41.1%あった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢聴覚障害者に福祉タクシー券を出してほしい。</li> <li>タクシー券について、地域によっては障害者というだけで配付しているところもある。75歳以上で歩くのがつらい人には配付してほしい。</li> <li>Bーグールの巡回コースを増やしてほしい。また逆回りのコースも検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bーぐるに車いすが1台しか乗れない。大きなバスに変更を。</li> <li>介護タクシーを入札だけで代えないでほしい。介護タクシーの委託業者の予約がいっぱいで取れないときに、他の業者に自費で頼もうにも情報ももらえない。</li> <li>移動支援も空いているヘルパーがいなかったため、結局使えないことが多い。</li> </ul>	<p>手術ができないので怪我をしないように注意しているが、歩道を横断する自転車のマナーが悪く、外出するのが怖い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学支援を30分単位で20回利用できる多様な仕組みを検討されたい。</li> <li>王子特別支援学校は通学するのに不便な要素があるので、移動支援を拠点先で利用できるグループ支援の対応を検討されたい。</li> <li>高齢者や職を探している方を区が支援員として雇用し、王子特別支援学校に通学する子どもたちを見守り、声掛けする対応を検討されたい。</li> <li>幼稚園や保育園から動坂や槐の会に行くときに移動支援を使えるようにしてほしい(仕事を中断しなければならない。)</li> <li>移動支援の支給決定が厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動支援の使い勝手を良くしてほしい。</li> <li>移動支援を柔軟な時間数や利用目的で使えるようになるとうい。</li> <li>通所後に家の門まで送るサービスを社会福祉協議会等にお願できないか。</li> <li>移動支援事業者に1泊程度の宿泊支援をお願いしたい。</li> <li>移動支援のPRと、移動支援に携わる人の確保をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bーグールを手帳で半額にしてほしい。</li> <li>統合失調症なので、道に迷ってしまうので、道案内の人がいてほしい。</li> <li>外出が億劫・怖い。</li> <li>都営交通以外の交通機関も手帳により割引になったら良い。Bーぐるのルートをもう少し使い勝手の良いものにしてもらいたい。</li> </ul>

	身体障害			障害児	知的障害	精神障害	
	視覚障害	聴覚障害	肢体障害				
ノーマライゼーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障害は、肢体障害や視覚障害に比べて軽い障害と見られる節がある。そうではないという理解をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>差別禁止は障害者に限らない。何人も差別されない社会をつくるのが大切。</li> <li>エスカレーターの右空けは、片まひの人でできない人もいるのを理解してほしい。</li> <li>区職員でも、障害のある人の実態について体験で学んでほしい。心のバリアフリーを推進してほしい。障害のある人の生活の大変さを、理解してほしい。</li> <li>ノーマライゼーション条例とか、差別禁止条例なども区でも制定してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害は、表面上では障害がわからないので、周囲の理解が得られず苦勞した。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>H20区：ペースメーカーを含め内部障害に対する理解の促進が必要で</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の人の障害に対する理解を推進してほしい。</li> <li>特別支援学級を各学校に設置することが理解につながると思う。</li> <li>各障害の支援の仕方について、ダイジェストにまとめてあるのがあったらよい。</li> <li>熱心に活動している地域や団体では、体験会やワークショップをやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で普通に障害者と関わっていけるまちづくりをお願いしたい。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>都：社会参加をする上で妨げになっていることの原因で、周りの人の障害者に対する理解不足をあげた方が18.5%いた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害に対する偏見をなくす工夫をしてほしい。</li> <li>見た目では「障害」がわからない、障害者と思ってもらえない、説明が面倒。説明してもらえないため、「おなかに赤ちゃん」キーホルダーのようなものがあればひいたい。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>都：社会参加をする上で妨げになっていることの原因で、周りの人の障害者に対する理解不足をあげた方が22.9%いた。</p> </div>
その他 (手続き等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の障害者計画について、それぞれの障害の人が見たときに関係があるところがすぐわかるようにしてほしい。ルビをふるのも重要。字も大きくした方がわかりやすい。文字が多すぎてわからない。</li> <li>計画を作るのではなく実行することカ点を置いてほしい。</li> <li>具体的に聴覚障害者に関する支援は何も進展していないように感じる。</li> <li>障害者という括りも重要だが、障害特性に応じて個々に支援してほしい。</li> <li>行政との話合いの場を増やしてほしい。要望を出した後に返答をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センターの機能訓練室など使っていない時に部屋を開放してくれると嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のある高齢者は住宅を借りるのに、保証人がいないと厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児を抱えた親が安心して働けるような仕組みを検討されたい。</li> <li>仕事と子育ての充実という観点を障害者計画の中に盛り込んでほしい。</li> <li>子どもが障害児だと教育委員会の受け入れはスムーズではない。子育て支援課の対応であっても横の連携を図ってほしい。</li> <li>窓口のワンストップ化をしてほしい(愛の手帳取得時含む)。</li> <li>他自治体では該当するサービスの書類を家に持ってきてくれて説明してくれる。</li> <li>福祉センター内に出張所を設けるなど、窓口を何か所もまわらないようにしてほしい。</li> <li>子育て支援計画の部会に団体として定席にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな子どもを持つ親でも仕事ができる機会を得られるよう、制度の充実を強く望む。</li> <li>窓口の人は10年は変わってほしくない。少なくとも5年。同じ人だと安心する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援の手続きは毎年更新で大変、診断書は2年毎になったので合わせてほしい。</li> <li>働いていると自立支援医療の手続きが大変。各種手続きを簡素化してほしい。</li> <li>精神障害者手帳は2年毎に更新するが、親が管理しなければ本人はできず、必要なサービスが受けられないのでは正してほしい。</li> <li>精神は保健衛生部の管轄で縦割りとなっており、3障害といっても、自立支援法制度そのものが置き去りになっている。</li> <li>「手帳が使える」ことが一目で分かる表示(シール等)があると、手帳も使いやすくなる。使えるか不明なことが多く、障害の内容を説明するのがいやで使用しない。</li> </ul>
社会参加と地域交流		<ul style="list-style-type: none"> <li>通訳者の設置について検討してほしい。</li> <li>通訳内容によって、同じ通訳者に継続通訳するようにしてほしい。</li> <li>手話通訳者が、通訳業務に関連して病気になる場合は、区で保障してほしい。</li> <li>登録手話通訳者の研修会の回数を増やしてほしい。</li> <li>手話通訳者認定試験の会場の確保、必要経費の補助をお願いしたい。</li> <li>要約筆記者の養成講習会を行ってほしい。</li> <li>区議会の委員会にも手話通訳つけてほしい。</li> <li>選挙の立会演説会、区議区長選挙などの街頭演説に手話通訳をつけてほしい。</li> <li>家の中で孤独に耐えている障害者は多い。</li> <li>講演会その他の行事に区からの補助金を出してほしい。</li> <li>聴覚障害者向けに夜間のパソコン教室を行ってほしい。</li> <li>障害者会館は休日等も障害者が優先的に使用できるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢になり身体障害になる者も多く、社会参加が少なくなる。心の触れ合いが大切、ソフト面での工夫が欲しい。</li> <li>選挙で投票権があるが、行使ができない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児は越境入学をしており、地域コミュニティの機会がない。地域の方々に障害者への理解を深めていただけるよう、区で講演会等を主催してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の施設や土地、シビック内の空間等を利用して、障害者が活躍できる場を作るようにするとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的に活動する機会がないため、引きこもり気味になり、話し相手がほしい状態。</li> <li>当事者が体験発表できる場があるといい。社会参加をすることは就労につながる。</li> <li>家族の会はあっても当事者の会がないので、つくってもらえるとうれしい。</li> </ul>